



学校に行きたくない — 親としての対応 —



資料 1 平成19年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果
(平成20年栃木県学校教育課 児童生徒指導推進室)

○本県公立学校における不登校児童生徒数及び出現率の推移

《小中学校》

年度	不 登 校					
	小学校	%	中学校	%	合計	%
17	403	0.35	1,936	3.3	2,339	1.35
18	455	0.40	2,024	3.52	2,479	1.45
19	419	0.37	2,063	3.64	2,482	1.46

《高等学校》

年度	不 登 校					
	全日制	%	定時制	%	合計	%
17	693	1.59	154	11.24	847	1.89
18	764	1.83	179	12.29	943	2.18
19	678	1.68	366	24.75	1,044	2.49

○不登校となったきっかけと考えられる状況（不明を除く）

《小中学校》

区 分	小学校	中学校	計
いじめ	9	91	100
いじめ以外の友人関係	48	431	479
教職員との関係	19	41	60
学業不振	32	282	314
部活動等の不適応	4	69	73
学校のきまり等	3	88	91
入学、転編入学等	12	74	86
家庭生活環境の変化	42	118	160
親子関係	83	212	295
家庭内の不和	34	154	188
病気による欠席	24	128	152
その他本人にかかわる問題	191	934	1,125
その他	44	77	121

《高等学校》

区 分	高 校
いじめ	9
いじめ以外の友人関係	125
教職員との関係	3
学業不振	108
進路にかかる不安	51
部活動等の不適応	9
学校のきまり等	23
入学、転編入学等	86
家庭生活環境の変化	26
親子関係	81
家庭内の不和	58
病気による欠席	61
その他本人にかかわる問題	476
その他	58

○不登校状態が継続している理由

《小中学校》

区 分	小学校	中学校	計
いじめ	1	10	11
いじめ以外の友人関係	37	297	331
教職員との関係	7	17	24
その他の学校生活上の影響	22	127	149
不安など情緒的混乱	172	610	782
あそび・非行	4	218	222
無気力	136	735	871
意図的な拒否	22	195	217
その他	87	219	306

《高等学校》

区 分	高 校
いじめ	4
いじめ以外の友人関係	120
教職員との関係	1
その他の学校生活上の影響	81
不安など情緒的混乱	230
あそび・非行	180
無気力	357
意図的な拒否	46
その他	109

資料 2 児童生徒指導の指針「心豊かなとちぎの子どもを育てるために」
(平成12年 栃木県教育委員会)より

家庭での不登校のサイン

- ❑ 朝になると元気がなく、口数が少なくなる。
- ❑ 朝に頭痛、腹痛、吐き気、下痢、発熱などを訴える。
- ❑ 朝になると機嫌が悪く怒りっぽくなる。
- ❑ 朝、布団にもぐって起床しない。
- ❑ 朝になるとトイレが近くなり、トイレの中にこもることがある。
- ❑ 朝になると行動がスローペースになる。
- ❑ 長期休業や病欠の後、登校したがない。
- ❑ 母親などへの甘えが強くなる。
- ❑ 学校での苦情や不満をよく訴える。

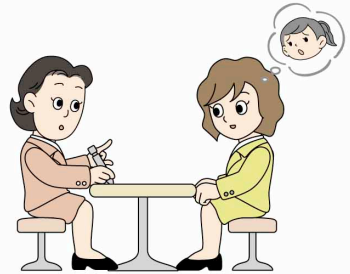
＊保護者は特に朝の生活態度に注意するとともに、生活に変化が見られたときは早期に学校に連絡を取り、早い段階で今後の方策について話し合うようにしましょう。

資料 3 「思春期の子どもを理解するために」(栃木県教育委員会)より

あせらず、学校等と連絡を密にしながら、温かく見守り、励ましていきましょう。
あきらめず、子どもが外の世界に目を向けるきっかけづくりをしましょう。

「なぜ、学校に行かないの?」と何度も理由を問いつめたりすると、子どもは登校することのできない自分を思い知らされ、ますますつらい状況に追い込まれてしまいます。子どもの心の内には、「本当は学校に行きたいのに行けない」という思いがあります。不登校になるきっかけは、友人関係、勉強、家庭環境、学校や社会との関わり方における問題など様々で、複数の理由が絡み合ったりしている場合もあります。

一番苦しいのは本人なので、じっくり本人と向き合うことが必要になってきます。子どもに対する愛情、「将来、自立した社会人になってほしい」という願いを、ゆっくり時間をかけて伝えてみましょう。学校の先生に相談したり、同じ悩みを持つ保護者と語り合ったりして支えていきましょう。専門の相談機関や適応指導教室なども活用しましょう。



● 子どもに関する様々な相談

- ホットほっと電話相談
 - ・ 家庭教育ホットライン(保護者専用) 028-665-7867
 - ・ いじめ相談さわやかテレホン(児童・生徒用) 028-665-9999
 - ・ メール相談(PC版) <http://www.hothotmail.jp>
 - ・ (携帯版) <http://www.hothotmail.jp/m.html>
- 県総合教育センター
 - ・ 子どもの教育相談 028-665-7210・7211
- 教育事務所(児童生徒の教育に関する相談)
 - ・ 河内教育事務所 028-626-3183
 - ・ 上都賀教育事務所 0289-62-7167
 - ・ 芳賀教育事務所 0285-82-3324
 - ・ 下都賀教育事務所 0282-23-3422
 - ・ 塩谷教育事務所 0287-43-0176
 - ・ 那須教育事務所 0287-23-2177
 - ・ 南那須教育事務所 0287-82-2909
 - ・ 安足教育事務所 0283-23-1471
- 思春期相談センター「クローバー・ルーム」 028-632-0881(毎週日曜)
- Eメール peerroom1020@rapid.ocn.ne.jp
- テレホン児童相談 028-665-7788
- 中央児童相談所 028-665-7830
- 県南児童相談所 0282-24-6121
- 県北児童相談所 0287-36-1058
- チャイルドラインとちぎ 028-614-3366

● 悩みや心の健康に関する相談

- 県精神保健福祉センター 028-673-8785
- (こころのダイヤル) 028-673-8341
- 県西健康福祉センター 0289-64-3125
- 今市健康福祉センター 0288-21-1066
- 県東健康福祉センター 0285-82-3321
- 県南健康福祉センター 0285-22-6192
- 栃木健康福祉センター 0282-22-4121
- 県北健康福祉センター 0287-22-2257
- 矢板健康福祉センター 0287-44-1296
- 烏山健康福祉センター 0287-82-2231
- 安足健康福祉センター 0284-41-5900
- 宇都宮市保健所 028-626-1116
- 栃木いのちの電話
 - ・ 栃木いのちの電話 028-643-7830
 - ・ 足利いのちの電話 0284-44-0783

● 子どもの問題行動や非行等の相談

- 県警察本部
 - ・ 県民相談室 (ヤングテレフォン 028-624-4152)
 - ・ (フリーダイヤル 0120-87-4152)
- 覚せい剤110番 028-624-0919

不登校の予防を目指す発達段階に応じた家庭での取り組み例

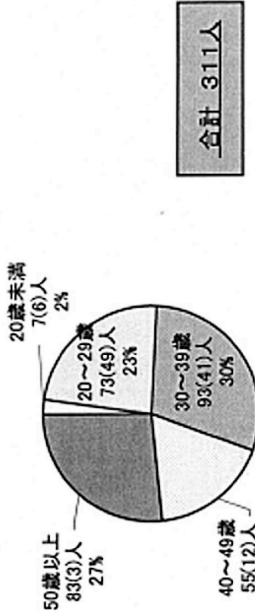
時 期	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中 学 生	
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習が始まり、学ぶことが中心課題となる時期 ◇自分らしく頑張ることが大切であることを知る時期 ◇やりたくなくてもやらなければならないことを経験する時期 	<ul style="list-style-type: none"> ◇あらゆることに好奇心を持ち、未知なるものを積極的に探求する時期 ◇やらなければならないことを自ら進んで取り組んでいく時期 ◇やればできるという自信を得ていく時期 	<ul style="list-style-type: none"> ◇仲間と群れてあそび、友達に対する信頼感や絆を深める時期 ◇対人感情が発達し、他者との比較や自己評価ができる時期 ◇リーダーシップを発揮するなど、社会的スキルが伸びる時期 	<ul style="list-style-type: none"> ◇身体が急激に変化し、性的に成熟していく時期 ◇自分の存在を問い直す時期 ◇他人から自分がどう受け取られているかという問題に直面する時期 	
発 達 課 題	自 立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初対面の相手とも話することができる ・ 自分なりに判断して行動することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で買い物をする、街を歩くなどの単独行動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の将来に対して夢を持つことができる ・ 生活や学習などの計画を立て、行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の行動を見つめることができる ・ 善悪について自分なりの判断ができる ・ 大人の行動を客観的、批判的に見ることができる ・ かけがえのない存在としての自己に気づき、自分を大切にすることができる ・ 自分の将来を考え、職業など進路について目標を持つことができる
	耐 性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味を持ったことに対して、ねばり強く最後までやり通すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やらなければならないことに対して、勤勉な態度でねばり強く取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己本位の考えを客観的にとらえ、反省できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 善を尊び、悪を憎む態度をもてる ・ 周囲の誘惑に負けない強い意志をもてる
	適 応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気なあいさつができる ・ 相手の気持ちを考えることができる ・ 生命(死)の尊さを体験できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場に応じたあいさつができる ・ 善悪の判断が客観的にできる ・ 時間や場を意識し、それに応じた行動がとれる ・ 相手の立場に立ってものを考えることができる ・ 生命の大切さを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との話合いを通じて学校の意義を理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異性に対して健全な関心が持てる ・ ストレスを発散する方法を知り、実行できる
発 達 課 題 を 達 成 す る た め の 具 体 的 な 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校であったことを丁寧に話させて、受容的に聴く ○ 夜は早く寝かせる ○ 学校、地域と連携し、あいさつができるようになる。 ○ 登校時刻、宿題など、学校のきまりや約束を守らせる ○ 子ども同士のトラブルを自力で解決する体験を積ませる ○ 毎日決まって行う家庭内の役割を与え、実行させる ○ 遊びや手伝い等を通して、道具の扱いなど様々な体験をさせる ○ 自治会等で実施している地域清掃活動等に親子で参加する ○ 試行錯誤を通して自分なりに工夫した学習をさせる ○ 小動物を飼育する ○ 親戚の葬儀に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 失敗をおそれずに、責任を持って行動する機会を与える ○ 学校への提出物などは自分で準備させる ○ 起床などを含め、身の回りに関する生活習慣を身につけさせる ○ たくさんの友達と自由に遊ばせ、遊びを通して様々なきまりや約束事を体験的に作らせる ○ テレビゲーム等は時間を決めるなどし、ルールを守らせる ○ 学校と協力し、食べ物の好き嫌いを克服するように、食事を工夫する ○ 風呂掃除や花壇の水やりなどの家庭内の仕事をさせる ○ 一人で留守番をさせる ○ バスなどに乗って、一人で買い物などに行かせる ○ キャンプや登山等、自然の中で生活する体験をさせる ○ 親戚や知人宅に泊まり、様々な家庭があることに気づかせる ○ 食事を一緒に摂るなど、家族で共有できる時間と場を持つ ○ ルールのあるゲームなどを通して、いけないことや守らなければならないことを体験させる ○ 親から言われなくとも勉強をはじめめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日日記をつけさせる ○ 家族で仕事の分担を話し合い、家族の一員として生活させる ○ 一人旅等の冒険をさせる ○ 友達と群れて遊ぶ時間を与える ○ 育成会の行事に参加させる ○ 放課後、休業日などの有効な時間の使い方を考えさせる ○ 前日に翌日の準備をすることを習慣化させる ○ 親の職場に子どもを伴い見学させ、社会での親の役割を理解させる ○ 親子の団らんの場を設け、学校生活や将来のことなどについて話し合う場を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の活動に参加させる ○ 家族と一緒に食事を摂らせる ○ 成長している自分を肯定的に評価させる ○ 家庭の事情に応じて家事を分担する ○ テレビ等で話題となっていることについて話し合い、子どもの考えを述べさせる ○ 芸術に親しませる ○ 社会の出来事に関心を持たせる ○ 一定額のお金の管理をさせる 	

本当に大丈夫ですか？ — 思春期の男女の付き合い方 —

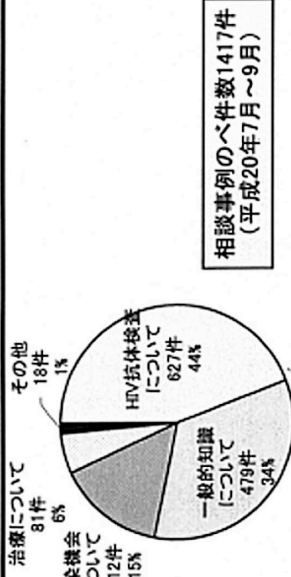
資料
1

AIDS NOW エイズデータ集 栃木県版 (栃木県健康増進課)

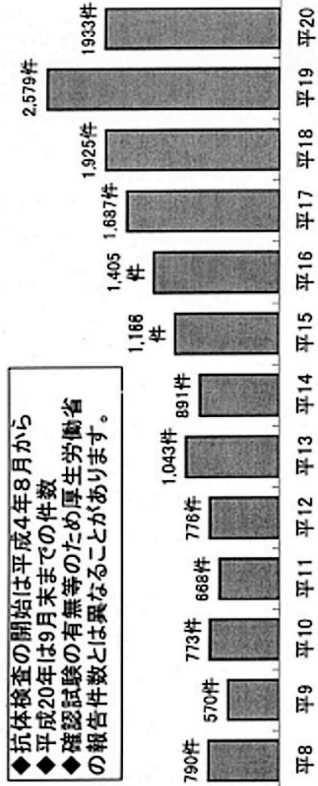
県内の年齢階級別HIV感染者報告数 ()内は外国人の再掲



エイズ相談事例件数(県内の行政機関へ相談のあったもの)



HIV抗体検査の実施状況(県内の保健所で実施した件数)



出典：AIDS NOW エイズデータ集栃木県版 栃木県保健福祉部健康増進課

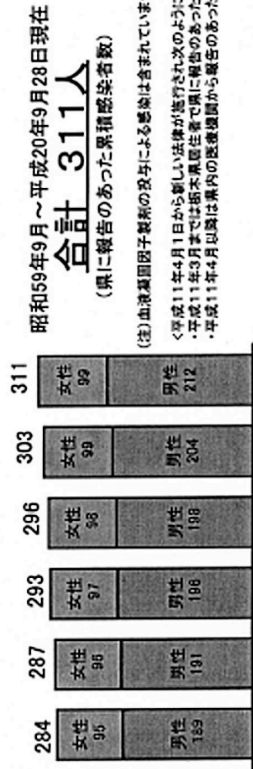


エイズデータ集
栃木県版

エイズとは

正しくは、「後天性免疫不全症候群」といいます。エイズは、からだを病気に守っている免疫力(抵抗力)が破壊されてしまう病気です。健康なときは問題のない弱い病原菌に対しても抵抗力が失われ、重い肺炎やある種のガンにかかりやすくなります。エイズは、エイズウイルス(HIV=ヒト免疫不全ウイルス)に感染し、通常10年前後の無症状期(キャリア)を経て起こる病気です。世界中で増加しており、もちろん日本でも例外ではありません。

県内のHIV感染者報告数(エイズ患者を含む、単位:人)

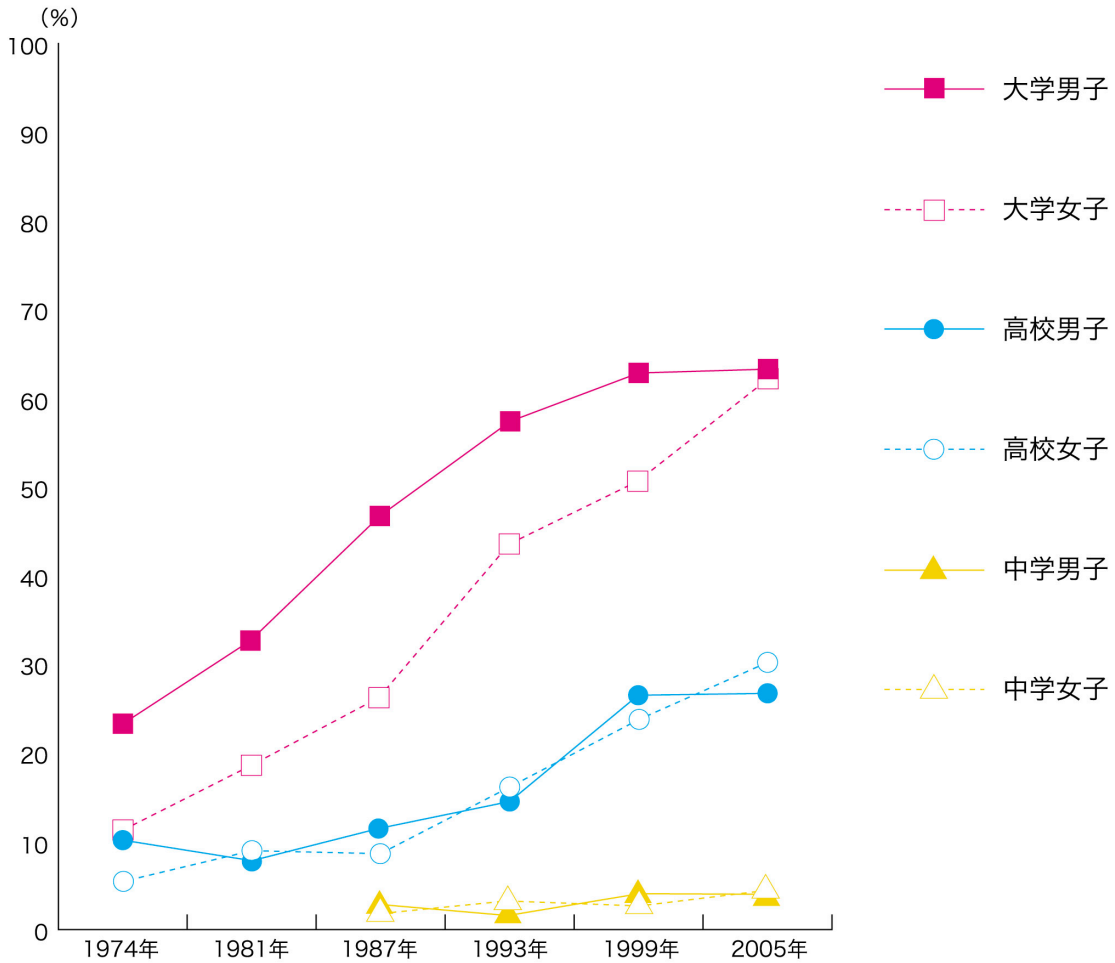


県内のHIV感染者報告数の原因別内訳(単位:人)

	平11.3未まで		平11.4.1～平20.9.28		合計
	男性	女性	男性	女性	
異性間性的接触	25 (2)	34 (25)	91 (10)	34 (22)	184 (59)
同性間性的接触	9 (0)	0 (0)	39 (5)	0 (0)	48 (5)
その他・不明	25 (10)	20 (20)	23 (11)	11 (6)	79 (47)
合計	59 (12)	54 (45)	153 (26)	45 (28)	311 (111)

()内は外国人の再掲

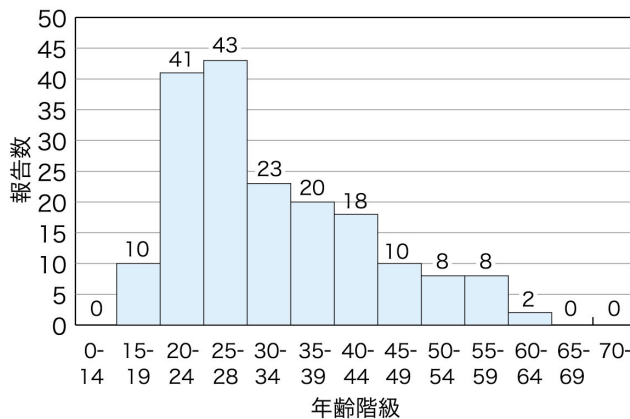
資料 2 性交経験率の推移



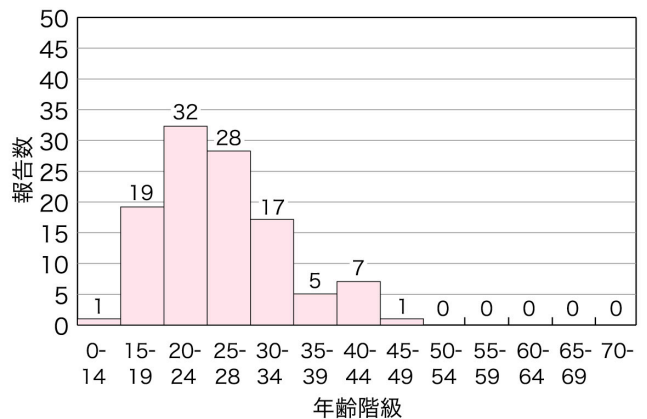
出典：第6回(2005年)青少年の性行動全国調査 (財日本性教育協会)

資料 3 性器クラミジア感染症患者数

性器クラミジア感染症(男)



性器クラミジア感染症(女)



〈栃木県内定点医療機関(17施設)の患者報告数〉

出典：平成19年1~6月感染症発生動向調査 栃木県健康増進課